





上：売り場は奥に長い。入り口に生け簀、そしてト口箱が並ぶ売り場、右側に調理場と振場が並ぶ。
下：手巻き寿司用ネタの盛り合わせ3人分(要注文)

魚長鮮魚は、先代社長が昭和三〇年裏町で創業。

戦後の裏町と言えば、この通りの歴史においておそらく最も上り調子で、松本一の繁華街と言われる賑わいだった。接待や無尽など、大小の集まりが毎晩あった。そんな賑やかな街の中に店を構え、地の利があった。舟盛りや焼物の器に刺し身盛り合わせなどを作り、お座敷に配達する一大拠点となった。

仕入れは、まずは地元魚市場との信頼関係を大切にやってきたそうだが、その一方で築地などとの付き合いも

しつかり保っていた。店内奥に飾られた大きな木製看板(表紙写真)は築地の魚屋から贈られたもの。

現在の魚長は、当時の賑わいとは違いますが、午前中は市内飲食店の大将たちが次々と来店、ネタを仕入れていく。

注文の品を仕込み、各店に配達する従

業員たちも忙しそうだ。

一般のお客様には、業者向けの仕事が一と段落する11時以降がおすすめた。

事前に予約しておき、盛り合わせなどを作ってもらおうのも良いし、店頭に並ぶ魚を捌いてもらうのも、粕漬けなどの加工品を買い求めてみるのもいい。毎週土曜日はお刺身デー。午後1時以降は値引きされたお刺身がショーケースに並ぶため、ねらい目。

魚長鮮魚

営業時間 8:00~16:00
日・祝定休
TEL 0263-35-4373
松本市大手5-4-4



鯛萬の井戸

料亭「鯛萬」の敷地に、大正十一年に掘られた井戸は、周辺住人が水汲みに洗いや物にと利用、地域の井戸として親しまれてきた。

松本市の街なみ環境整備事業によって平成十五年、小公園として整備された。現在の井戸は深度約五十メートル。松本市内にある他の湧水と比べても比較的深い場所から湧いているからここに汲みに来ますと言う人も居れば、ここが落ち着いて汲みやすいので好きです、と言う人もいる。

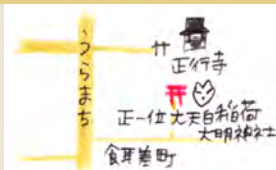
市が整備した水場であっても、日々の維持管理をするのは周辺住人。

管理をされている方にお話を伺うと、訪れる人に恥ずかしくない井戸であってほしいとの想いから、清掃など毎週早朝に欠かさず十年以上続けているということだった。美味しい水を汲むことができるのも、こうした努力のおかげだろう。

さて、うらまちから井戸に通じる「鯛萬小路」の入り口には、銅板を彫刻した看板が設置されている。これは長年うらまちで彫金職人を営んできた巣山さんの手によるもの。右に写真があるが、表裏で図案も違ってしているので、水を汲みつつ看板にもご注目ください。

うらまち 歴史学講座から

11月9日、市東真一氏による講座「金剛院跡および民間信仰について」が行われた。これは3回に渡って開催された「歴史を読み解く連続講座 うらまち」のうちの1講座で、これらの講座の内容は後日、冊子としてまとめられる予定だが、ここでは、金剛院跡についての一部を紹介する。



正行寺の南側（入口は餌差町で路地の奥に敷地）に、稻荷「正一位大天白稻荷大明神社」、金剛院跡の札と寺子屋跡の碑がある。現在も稻荷を管理する浅香家の先祖は、松本藩の開祖である石川数正の家臣であったとされている。

神の世界とされていた山の力を得ようとする山岳信仰と仏教が結びつき、中世には各地に修験道の道場が設立されていた。時代とともにこれら修験者の定住化が進み、彼らは里修験として、お祓いや占いなど、都市住人のシャーマニズムを担っていた。浅香家の先祖「天台宗権大僧都法印」もそんな里修験の一人と考えられる。もともと円合院という寺院で、下横田町（裏町）にあったが、寛保二年（1721）水害ののち、恵光院屋敷という土地に移り、名前を稻荷山金剛院とした。金剛院の境内には寺院の守護神として稻荷が祀られていたようだ。

享和三年（1813）大火にあっている。その後も火災による被害あり。弘化四年（1824）浅香永隆が寺子屋「龍章堂」を開いた。

明治元年（1868）、明治政府により神仏判然令が布告、明治五年に修験宗廃止令。廃仏毀釈前の松本城下に修験系寺院は十八寺院があったと資料に残されているが、全国の修験道寺院は解体され、金剛院も例外ではなく、廃寺となった。

寺子屋龍章堂も明治五年の学制令により廃業。残された建物も明治十九年（1886）の山辺小路の大火により焼失してしまった。寺も寺子屋も失い、なお現在まで残っているのが稻荷というのが不思議に感じられるかもしれない。だが浅香家に残る、土地関係の覚書などの古文書には、金剛院の土地はもともと稻荷社の土地という認識があったと読み取ることのできる記述がある。



凡例

- 🍴 食事処・レストラン(昼)
- 🍴 食事処・レストラン(夜)
- 🍴 食事処・レストラン(昼・夜)
- 🍷 居酒屋
- 🍩 スナック
- ☕ 喫茶・カフェ
- 🛒 物販
- 🍦 スイーツ
- 💧 湧水・井戸
- その他

店名末尾に★マークのあるお店は、本紙配布店です

うらまちと周辺のお店をGoogle Mapで見れます。

<https://qr.paps.jp/vtZFM>



TAKE FREE | ご自由にお持ちください

URA NO MAMA は、定期的に行き予定のフリーペーパーです。
2ヶ月に一度、松本市うらまちの魅力や歴史を紹介していきます。

Instagramアカウント@ura_no_mamaでは
新規発行のお知らせ、配布店の紹介、本誌紙面に掲載
しきれなかった取材写真をご紹介します。



うらまちを通じ松本の街を見直し、松本がもっと楽しくなる。
当マップ配布に協力してくれる店、施設リスト

- ① ベラミ人形店
- ② salon as salon
- ③ cafe chiiann
- ④ 葉日
- ⑤ フランス惣菜 ルニ
- ⑥ 横山薬局
- ⑦ カモシカスタンド
- ⑧ ゲストハウス tabi-shiro
- ⑨ そればな
- ⑩ books電線の鳥
- ⑪ 三代澤酒店
- ⑫ たい焼きふるさと
- ⑬ 飯田屋路店
- ⑭ something tender
- ⑮ ガルガ
- ⑯ てまりや
- ⑰ Plaire
- ⑱ Oldies B Goodies

旅館すぎもと(松本市美ヶ原温泉) CreperieMonkava(松本市島内)
本・中川(松本市元町) 華陽麵坊(松本市元町)
オートプラザ諏訪(諏訪市) 松本マツダオート(松本市平田)

配布にご協力いただける店、施設募集中です。



かつて松本で一番の繁華街だった「うらまち」は
時代の波に取り残され、ひっそりと佇んでいる。
そこで店舗や地元のみなさんの協力のもと、多彩
な町の魅力を発信しつつ新たなアプローチ(エン
ターテイメント)で活気を取り戻そう!というプ
ロジェクト。
2021年1月に演劇公演をうらまちで予定してい
ます。



<https://note.com/uramaticstreet>